

安里屋ユンタ

クヨーナーラ、今安里さんと言うお宅の前に立っています。皆さんは安里屋ユンタと言う歌をご存知でしょうか、ここ安里家のクヤマさんに島に赴任してきた役人が振られて振られた役人が別の村から別の女性を探してイチャイチャしたという内容になっていますが、1722年ここ安里家でクヤマさんは生まれたそうです 16歳になる頃には働きます。しかも美人ということで大変評判になっていたようですが、当時赴任してきた役人の中でナンバーツーにあたる目差役の男がクヤマさんに申し入れます。でもクヤマさんは私は与人様に使えますということで、目差役の申し出を断ります。まあ断られた目差役は腹が立ったでしょうね。とても悔しかったと思います。でも上司である与人役に使えると言われたからね。どうすることもできないのでじゃあいいよ。もう分りましたと別の女性をあなたよりもっときれいな女性を見つけます、ということで村々を回って仲筋村のイシケーマと言う女性と出会いそのイシケーマを玻座真村に連れ帰り、イチャイチャしたというのが23番まで唄われています。長いですがクヤマさんが出てくるのは申し込まれて断るまで2番までしか出てきません。後はこの振られた目差役の様子が歌われています。役人に文句も言えない逆らうことのできない農民が歌にして役人のことを笑って農作業しながら歌を歌い、憂さを晴らしたのかもしれないですね。えーとクヤマさんは自分が言った通り与人役には仕えて与人からの愛をたくさん受けたクヤマはご褒美として富道原と言うところがありますけれども、そこに土地をもらって弟と二人で一生懸命耕してイモを作り、畑からの帰りには畑から出てきた石を少しずつ運んでこの屋敷の周りの石垣を築いたそうです。今あるこの石垣はクヤマさんと弟の安里筑登之が築いたものと言われています。ということで最後に1番だけですけど安里屋ユンタを唄いたいと思います。